



阿南市の花「ひまわり」の花言葉は、「光輝く」です。人権について考え守っていくことが、まさに光り輝く阿南市づくりにつながります。人権教育・啓発コーナー「ひまわり」では、市民の皆さまの人権に対する思いを掲載していきます。

赤ちゃん先生からのプレゼント

阿南市人権教育・啓発講師団講師

美馬 育子さん

① 赤ちゃん授業との出会い

私の人生は教職人生でした。退職後ボランティア活動で楽しんでいますが、もうすっかり73歳の高齢者となりました。そんな私が今年「赤ちゃん授業」と出会うことができました。現職時代にやり残した「赤ちゃん授業」に大きな喜びを感じて、10人の実行委員の一人として仲間入りさせてもらいました。

② 赤ちゃん授業って??

それは、赤ちゃんが先生です。0

歳から1歳までの赤ちゃんが、お家の方と学校へ来てくれて、学校の生徒さんと出会うって、授業が始まります。まさに赤ちゃんが先生です。この授業は、一つの学校で春と秋に2回行います。

③ 1回目の授業

今年阿南市内3中学校で実施できました。実行委員のメンバーは誰も不安で、何度も事前勉強会を行い、学校の先生方との打ち合わせ、ママたちへのお願いや説明など1回目の授業に備えました。また、地域の主任児童委員の方や、ボランティアの方々の支援もいただきながら当日を迎えました。駐車場まで待ち構えてくれるボランティアさんと一緒に教室へ。

エプロン姿の中学生の皆さんとの出会いから授業は始まります。それぞれの赤ちゃん先生のまわりには緊張しきりの中学生が集まり、赤ちゃん先生の紹介やお家の方との自己紹介などをし

ながら、赤ちゃんとの交流へと進みます。

さつきまで元気に笑っていた赤ちゃんも、ぐっすり眠ってしまったり、お腹がすいて授乳の時間となったり、おむつ換えとなったりと実にさまざまですが、中学生にとってはどれもこれも新鮮で驚きの連続のようです。赤ちゃん抱っこでは、大きな体は岩石のように固まって、本当に壊れそうな宝物を抱くような緊張ぶりです。語り尽くせませんが、私たち以上に生徒の皆さんは緊張の連続だった風にも感じます。先生方の事前指導に感謝します。

④ 2回目の授業で再会

4カ月後の秋、2回目の授業です。私たちも驚くほど赤ちゃん先生は立派に成長です。つかまり立ち、はいはい、寝返り、おもちゃと遊ぶなど、目を見張る成長ぶりです。

一方、中学生の皆さんも全員、「早く会いたい」「おもちゃ渡したい」と、入ってきたとたんに赤ちゃんやお家の方との交流が始まります。中学生の優しそうな笑顔から、2回目を楽しみに待っていてくれたことがしっかりと感じ取れます。膝に抱いてミルクを飲ませる体験をさせてもらった中学生、だっこして離したくない中学生、おむつの交換をさせてもらった中学生、赤ちゃんの動きに合わ

せて「いないいないば〜」など。教室中が赤ちゃんの泣き声や生徒の皆さんの笑顔であふれました。

⑤ 今思ふこと

私たちは、この授業から、多くの驚きや感動をいただき、中学生の感受性の豊かさに気づかされたりと、まさに感動物語授業となりました。ママやパパや学校の先生方、中学生、主任児童委員さん、地域の方々のご支援に紙面をお借りしてお礼を申し上げます。赤ちゃん先生ありがとう。この授業をこれからも長く続けて行けたらと願っています。

今、わが国の子どもたちの状況は先進国日本として、涙する状況にあります。この赤ちゃん授業は、地域やお隣でできるかも知れません。また既になさっている方もいらつしやると思います。赤ちゃんから高齢者まで全ての人が助け合える阿南市は私たち一人ひとりの優しさから創り上げられる社会だと思っています。「赤ちゃんから育子(高齢者)まで!!」を今少しやっていきたいと思っています。

問い合わせは

人権・男女参画課

(☎22-3094) へ

